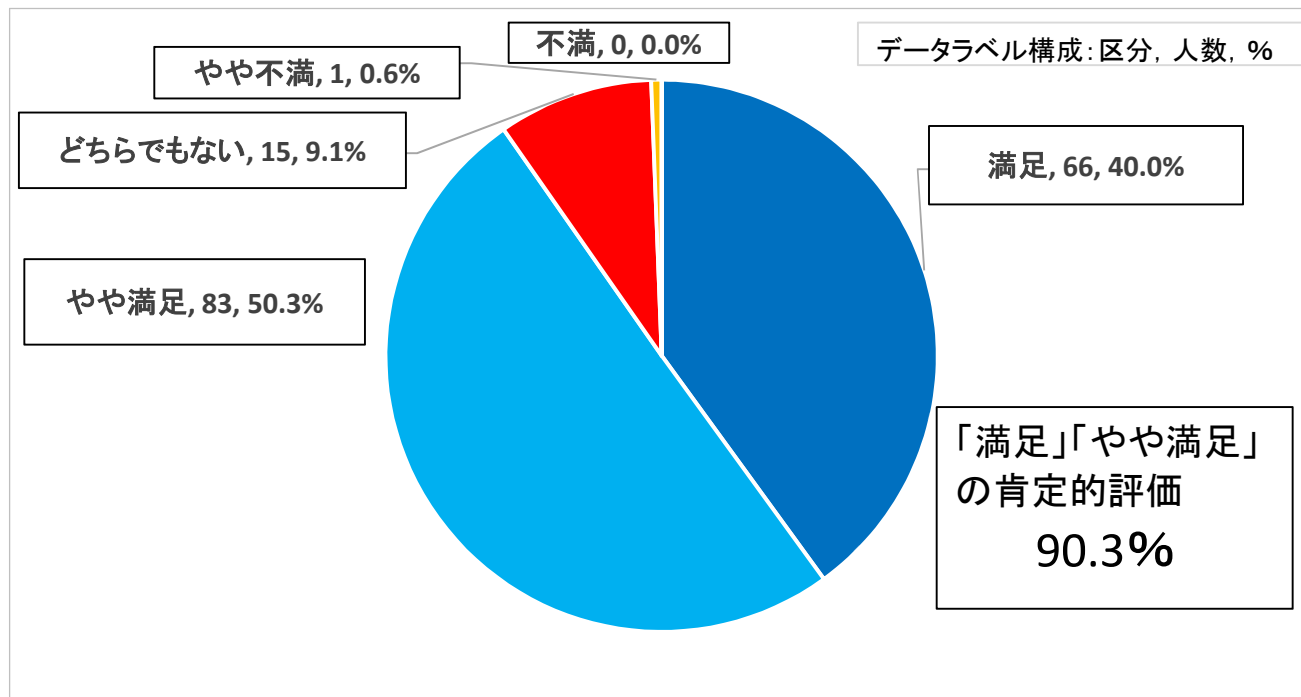


令和4年度 防災対策基礎研修会アンケート（令和4年5月20日）

対象者数 200人 有効回答数165人 回答率 82.5%

1 本日の基礎研修会はどうであったか



2 1と回答した主な理由

【満足】

- ・ハザードマップ等の説明や講義内容が分かりやすかった。
- ・地域防災について参考になった。住民よりの発想で、実態を知っている。
- ・タイムラインを作りたいと思った。
- ・情報伝達や避難訓練の重要性が理解できた。
- ・共助及び避難所運営に新しい発見があった。

【やや満足】

- ・行政の対応中心の説明から、地域防災活動について具体的な内容でよかった。
- ・施設管理者として、イメージが少しわいた。
- ・講義内容が多く、時間不足を感じたが、長岡方式の避難について理解が深まった。
- ・自主防災会未結成町内会を対象に、結成に向けての研修会があってもよいと感じた。
- ・風水害に特化した内容だった。

【どちらでもない】

- ・初任者研修と同内容が多かった。
- ・原発事故に伴う放射能漏れの内容がなかった。
- ・一般論的な説明であった。

【やや不満】

- ・大規模盛土の危険について知りたかった。

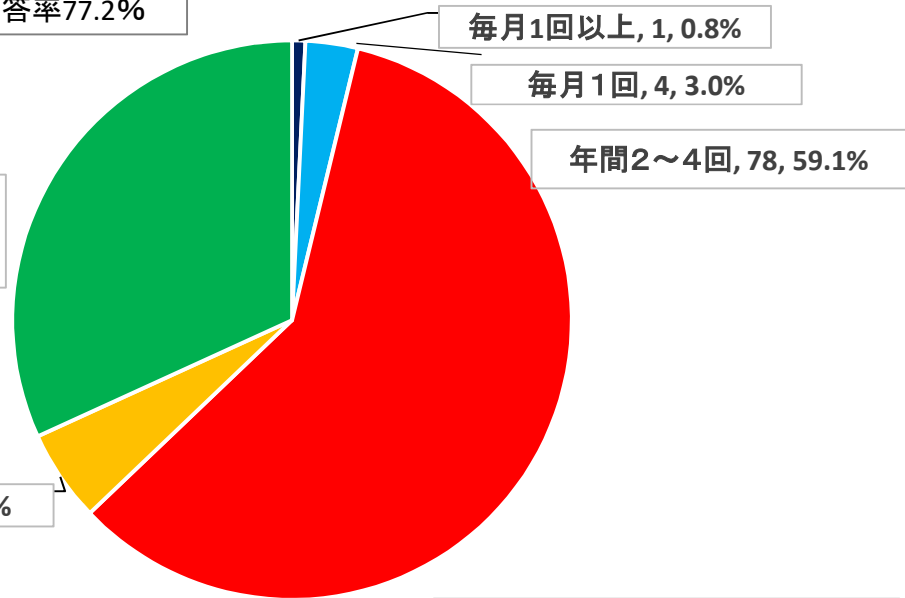
3 その他 意見要望等

- ・各町内ごとに防災士を育成する。
- ・地区で今回のような研修会が行えるとよい。
- ・開始時間を午後1時からにして、もう少し短時間で、内容を絞ってほしい。
- ・参加人員が多い。
- ・行政と地域の連携についての研修内容があったらよい。
- ・町内会の防災活動について、パネルディスカッションを行う。
- ・地域、地区の実情に合わせた研修、講習が必要だと思う。
- ・自主防災会設置町内会と未設置町内会の研修を分けたほうがよい。
- ・自主防災会についての詳しい研修会がよい。
- ・町内会役員が1～3年で交代するので、ハザードマップの説明会等を2年に1回位で行ってほしい。
- ・今後も継続して研修会を行ってほしい。
- ・内水氾濫についての研修内容に入れてほしい。
- ・質疑応答の時間をとってほしい。
- ・開催時期は適切であった。
- ・若年世代も参加できるように、参加人員を増やして休日開催にしてはどうか。
- ・インターネットでの動画配信をしてほしい。
- ・研修時間を2時間以内にしてほしい。
- ・自助、共助が主体になるのは分かるが、公助減りすぎているのではないか。
- ・町内会に対する要望が多すぎる。
- ・座学の研修と避難所開設等の実技の2本立てがよいのではないか。
- ・資料の文字大きくしてほしい。
- ・机があるとよい。

4-① 各自主防災会における防災活動頻度

回答132/参加171団体 回答率77.2%

計画がない/ほとんど活動なし, 42, 31.8%



データラベル構成: 区分, 団体数, %

4-② 活動を行う上で困っていること

1 会長・防災委員に関すること

- | | | |
|----------------------|----|-------------------|
| ① 役員が1年交代で継続的な活動がない | 11 | ⇔ 防災員5人で3年任期としている |
| ② 町内会長は多忙、町内業務優先となる | 3 | |
| ③ 連合町内会の役割が分からず、町内任せ | 2 | |
| ④ 自身の知識不足、リーダー育成、やる気 | 4 | |

2 住民に関すること

- | | | |
|---------------------|----|------------------------|
| ① 住民の協力が無い、意識が低い | 18 | ⇔ 世帯カードを作り、隠れ要支援者が分かった |
| ② 高齢化(要支援増、参加者不足) | 13 | |
| ③ マンション、アパート居住者との連携 | 3 | ⇔ 小さな町内で、住民同士が知り合いである |
| ④ 住民の意見のとりまとめ | | |

3 防災活動・研修に関すること

- | | | |
|--------------------------|---|----------------------|
| ① 情報連絡体制の構築 | 6 | |
| ② 個人情報の取扱い | 2 | ⇔ 今日の講演で理解できた |
| ③ 要支援者の支援役割分担 | 2 | → 独居でも家族がいれば家族が支援すべき |
| ④ 災害時の実践に関する不安・優先順 | 4 | |
| ⑤ 訓練メニューが浮かばない・充実化 | 3 | |
| ⑥ 避難所がない | 2 | |
| ⑦ 地域にぴったりのハザードマップがない | | |
| ⑧ 避難所の役割分担の決定は市にリードしてほしい | | |
| ⑨ 自宅避難者の安否確認の要領 | | |

4 その他

- | | |
|------------------------|---|
| ① コロナ禍で集まりづらい、言い訳にしている | 4 |
| ② 資金不足 | |

4-③ 活動を活性化するため、市から支援してほしいこと	
1 説明会・研修会の実施、講師等の派遣	27
2 研修・訓練内容に関すること	
① 避難所、垂直避難の具体的な研修	1
② 他の自主防災組織の実践例の紹介	1
③ タイムラインの作成研修	1
④ 訓練メニューの紹介	1
⑤ 要支援者の支援要領・介護実技指導	1
⑥ 今回のような研修を町内でしてほしい	2
⑦ 資料配布	2
⑧ 学区単位の研修の実施	1
3 その他	
① 市から住民参加の働きかけ、強制化	4
② 借上げ避難用具保管所の財政支援・報償金増額	2
③ 地域の電柱等に浸水深の表示	1
④ 住民の多い旧市内は、学校以外に近い避難所を作ってほしい(川崎地区)	1
⑤ 自主防災会が未結成のため結成のための基礎研修	1
⑥ 大規模盛土の位置、内水氾濫ハザードマップの作製	1
⑦ 現状でよい	3